

電子入札システムで利用するソフトウェア (JRE7.0,8.0) の無効化手順について

電子入札システム端末を電子入札以外に利用する場合のセキュリティ対策として、JRE の利用を無効化する手順を以下に示します。

なお、JRE 無効化後に改めて電子入札システムを利用する場合は、JRE を有効化させることが必要ですのでご注意ください。

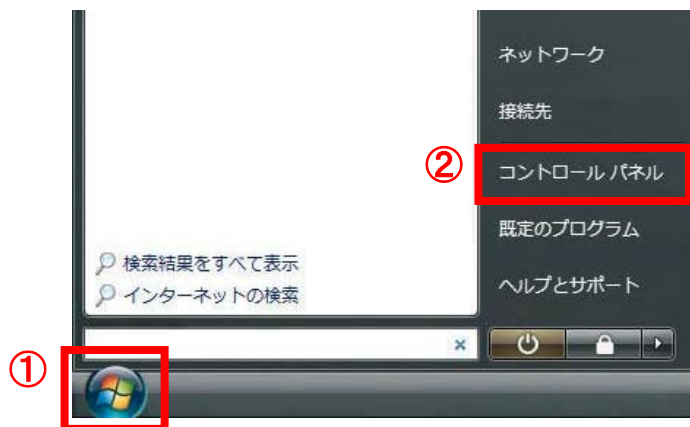
※無効化、有効化作業の前には、必ず Internet Explorer を全て閉じてください。

①画面左下にある Windows の「スタート」ボタンをクリックする。

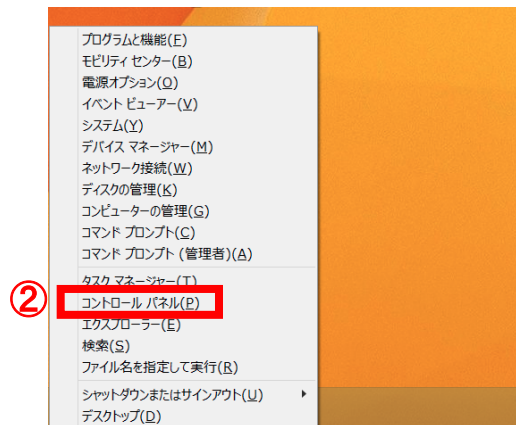
※【Windows 8.1、Windows 10 の場合】→[Win キー]+[X] で、各種設定画面へアクセス出来るタブが開く。

②「コントロールパネル」をクリックする。

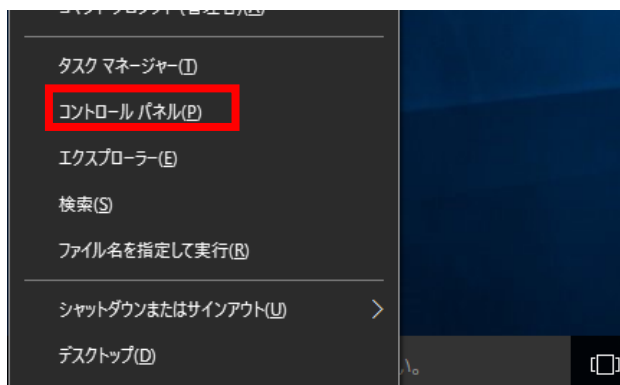
【Windows Vista、Windows 7 の場合】



【Windows 8.1 の場合】



【Windows 10 の場合】



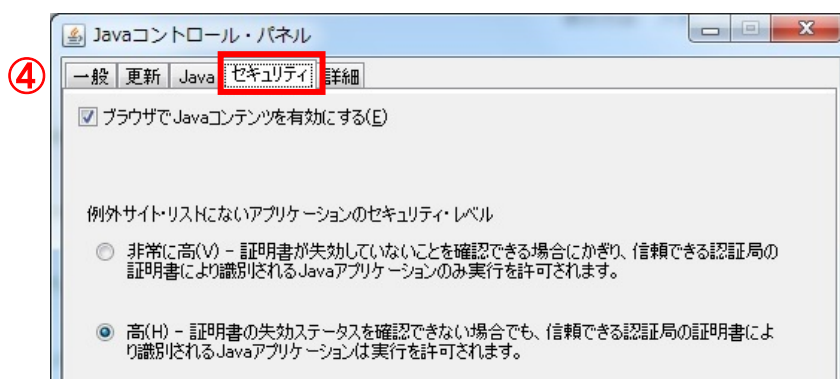
③「コントロールパネル(クラシック表示)」内に、「Java」という名前の入った、アイコン をクリックする。

※【Windows Vista】を利用中で、コントロールパネルの画面左側にある「クラシック表示」という文字の左に「・」が付いていない場合は、文字部分をクリックし、「クラシック表示」に切り替えてください。

※【Windows 7、Windows 8.1、Windows 10】を利用中で、コントロールパネルの画面右上に「表示方法：カテゴリ」と表示されている場合は、文字部分をクリックし、「小さいアイコン」もしくは「大きいアイコン」のどちらかに切り替えてください。

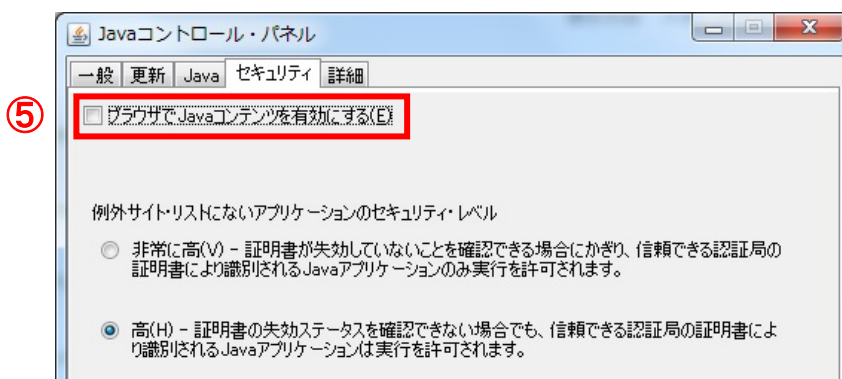
④「セキュリティ」タブをクリックする。

◇Java コントロールパネルの画面（JRE8.0 の場合）

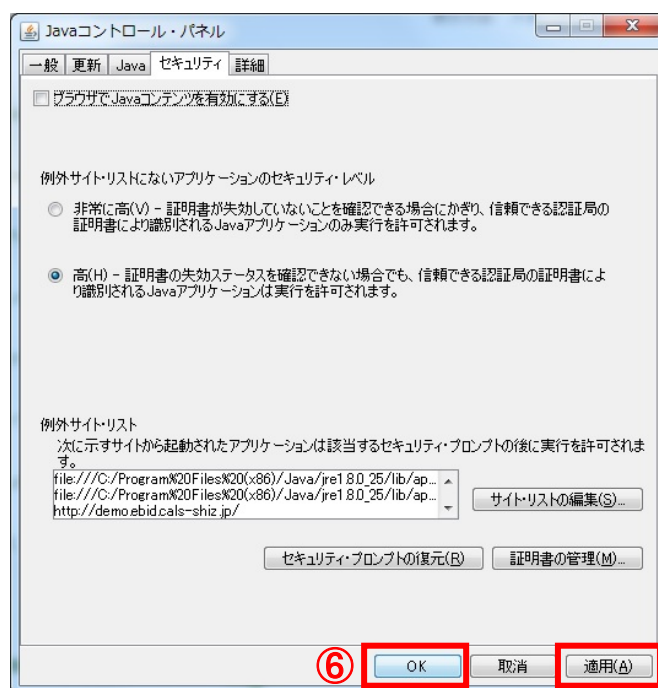


⑤[ブラウザで Java コンテンツを有効にする]のチェックを外す。

※電子入札システムを使用する際は、チェックを入れてください。



⑥[適用][OK]を押下する。



～以上～